

令和5年度

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

事業報告書

公益財団法人愛世会

《目 次》

1. 事 業 概 況	1頁
2. 愛 誠 病 院	2～12頁
3. 介護老人保健施設 シルバーピア加賀	13～15頁
4. 訪問看護ステーション	16頁
5. 居宅介護支援事業所	17～18頁
6. 地域包括支援センター	19～24頁

事業概況

昨年5月にコロナ禍3年半でようやくウイルスの扱いが2類から5類になり、コロナウイルスの扱いもインフルエンザ並みとなった。これにより令和6年度は、体制としてもポストコロナの時代に入ったと言えるのではないかと思われる。当院にとっても今後の方向性を定める極めて重要な節目の年となる。病院の体制としてもコロナ禍前後での取り巻く社会の変容に加えて、本年度から施行される「医師の働き方改革」に対応する必要がある。地域医療支援病院を基軸として医療を取り巻く社会の状況を加味して具体的な行動にうつしてゆく必要があると考えている。

令和5年度は、ロシア・ウクライナ戦争の長期化、秋にはイスラエル・ハマスの軍事紛争が勃発し、全世界の政治・経済・友好に混迷の度を深めた。一方、日本では日経平均株価が初めて4万円を超し、ようやく30年前のバブル崩壊以前の株価に戻ったが、国民の生活は一向に楽にはなっていないと感じている。今年の春闘では、大手の正社員の賃上げ率が5.28%という満額回答もあったようだが、更には中小企業の賃上げ率も伸びて、日本の景気をもっと上向きになって欲しいという期待を込めて、今後の平均株価の動向を見ていきたい。

1. 公益事業本体である診療部門は、再び大小2回のコロナクラスターが発生した事で新規患者入院制限にて病床利用率が低下した。もう一方の公益事業である検診事業においては、自治体からの大規模なコロナワクチン接種業務の依頼も無く大幅な収益減となった。2年連続で経常収支の黒字を達成してきたが、令和5年度は厳しい決算を迎える事となる。
2. 収益部門である介護老人保健施設「シルバーピア加賀」は、新型コロナの収束により、入所率もコロナ前の水準に戻り目標値を達成した。また、通所リハビリテーションにおいてもコロナ前の利用率を維持することができた。ただ、医療・福祉業界の人材不足は否めず、人材確保による経費の増加、物価高騰による経費の増加で黒字幅はわずかなものとなった。今後さらに利用者確保に向けた取り組みにより、収益を確保していく必要がある。
3. 事業概況は以上のとおりであり、医療、介護環境の厳しさ、更に物価高騰の経済環境の悪化、侵略戦争の長期化等が重なり、令和5年度の法人経営は大変厳しい状況であった。このような状況であったが、公益財団法人として、不特定多数の地域社会に多大に貢献できたものと確信する。

愛 誠 病 院

厳しい医療環境の中、患者サービスの向上を考え、あらゆるニーズに対応できる病院作りを第一に、安全なそして安心できる医療環境を提供するため、次の事業を行った。

A. 診療部門

1. 公益財団法人病院として実施した事項

- (1) 精神病棟において合併症治療のため入院相談が 122 件あり、そのうち入院した患者は、42 人であった。
- (2) 生活保護法による医療扶助患者数は次のとおりである。

	患者数
入院総数(延べ)	141,176 人
うち医扶患者	37,163 人
外来総数(延べ)	35,111 人
うち医扶患者	6,325 人
合 計(延べ)	176,287 人
うち医扶患者	43,488 人
比率(%)	24.67%

- (3) 入院及び外来患者数は次のとおりである。

	入院患者	退院患者	死亡者	入院患者延数	外来患者延数
年間患者数	199	213	131	141,176	35,220

- (4) 勤労者に対しインフルエンザワクチンや破傷風ワクチン、新型コロナワクチンをはじめ各種ワクチン接種を延 27,107 人に行った。
- (5) 精神科の外来患者に対して社会復帰支援のため精神科デイケアを延 5,633 人に、入院患者に対して精神科作業療法を延 23,687 人に行った。
- (6) 厚生労働省の 57 項目のストレスチェックを 5,060 人に行った。

- (7) 各学校の実習生の受入については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策中ではあったが以下の通り受入れた。

学校名	担当部署	期間	人数
東京衛生学園専門学校	精神科	1月	19名
上板橋看護専門学校	精神科	5月～10月 2月	24名
帝京高等看護学院	精神科	4月～10月 2月	42名
東京福祉専門学校	デイケア科	9月～12月	36名
聖徳大学	デイケア科	10月	3名
東京家政大学	デイケア科	4月～11月	4名
日本リハビリテーション 専門学校	作業療法科	9月～1月	1名

- (8) 日本赤十字社東京都赤十字血液センターの依頼で献血を愛誠病院駐車場で令和6年2月16日63人の受付者に対して56人の献血を行った。

2. 健診実績

愛誠病院全体で行った集団健診受診者数実績

① 一次健康診断

定期健康 診 断	生活習慣病 予防健診	が ん 健 診			循環器
		胃	大 腸	肺	
63,914	7,996	14,236	18,813	16,447	33,814

児童生徒	特 殊	婦 人	住 民	ストレス チェック	採用時 健康診断	合 計
20,642	3,986	2,154	2012,	5,060	3,890	192,964

② 二次健康診断

定期健康 診 断	胃 が ん (胃内視鏡)	大腸が ん (大腸内視鏡)	肺 が ん (胸部 CT)	合 計
1,631	2,253	11	62	3,957

3. 疾患予防事業の計画に対する報告書

疾病予防事業(集団検診)

(1) 事業年報の作成(令和4年度分)

令和4年度の健康診断実績を基に作成した。

(2) ウィズコロナ時代における健康診断実施方法の変化に対応するべく、健診8団体ガイドラインを基に、新しい健康診断の実施方法の確立を目指した。

(3) 勤労者に対するメンタルヘルス事業のさらなる促進

ストレスチェックがウェブで対応できるようになり、実施の選択が広がったことにより、事業所に対するPR活動を行い、受検者の増加に努めた。

(4) 事業所、勤労者へのワクチン接種の実施

風しん抗体検査と共に風しんワクチン接種の促進に努めた。
また、インフルエンザワクチン接種の普及も努めた。

- (5) 健康診断業務の拡大
職域、地域、学校など、疾病予防及び健康づくりに貢献し、各事業所への聞取りを行い、困っていること、不満に思っていることの解決に努めた。

- (6) 健康診断業務の効率化
令和 5 年度より、ハンディ健診の導入を行い、健診業務の効率化・精度の向上を目指した。また、見やすく分かりやすい健康診断結果票の作成については、次年度も引き続き継続事項とした。

- (7) 情報セキュリティの強化
受診者の個人情報保護の為にセキュリティを強化し、第三者認証の維持、継続に努めた。2016 年度に取得した ISO27001 (ISMS 認証) のサーベイランス審査を経て登録維持された。

- (8) 新型コロナワクチン接種の実施
自治体と協力し、地域住民に対し新型コロナワクチン接種を 8,966 回実施した。

B. 研修部門

1. 学会出席実績

月 日	学会名	職責	参加者
4月15日	2023 国際医用画像総合展	放射線科 科 長	木下秀記
4月15日	2023 国際医用画像総合展	放射線技師	香川佳央了
4月16日	2023 国際医用画像総合展	放射線技師	堀孝太郎
8月25日 ～26日	第27回 日本看護管理学会学術集会	副看護部長	廣瀬久美子
9月1日 ～2日	日本褥瘡学会 学術集会	師 長 看 護 師	黒原恵理子 他
9月15日	日本人間ドック学会学術大会	健康管理 センター 副 所 長	矢吹志保
9月30日	日本人間ドック学会学術大会	健康管理 センター 所 長	堀江文俊
10月24日	第35回東京精神科病院協会学会	副 主 任 看 護	中村昭子 他
10月28日 ～29日	日本リカバリーフォーラム	医療相談室 室 長	洗成子
11月2日 ～4日	日本精神保健福祉士 全国大会学術集会	相談室長 相 談 員	洗成子 吉田綾子
11月22日 ～23日	日本精神科看護専門学術集会	看護部長	栗山美樹

2. 外部研修会出席実績

月 日	研修会名	職責	参加者
4月14日	テルモ・医療安全Webセミナー	医療安全 対策室室長	粕谷勝尋
5月27日	急変・緊急時対応セミナー	副 主 任 看 護 師	貝瀬悟
5月29日	板橋区保健所栄養管理講習会 (第1回)	栄 養 科 科 長	森田ほずえ 他
5月29日	病棟のチーム力を上げるコミュニ ケーション向上セミナー	副 主 任 看 護 師	浪岡しのぶ 他
6月5日	看護管理職が押さえておきたい メンタル問題対応の基本	副看護部長	丸山美佐子
7月1日	心の健康相談統一ダイヤル合同 研修	相 談 室 長	洗成子
7月6日	東京都新人看護職員教育担当者 研修	主 任 師 看 護 師	新澤峰子
7月6日	精神科における療養生活継続支援 加算に関する研修	相 談 員	沖野孝栄
7月8日	第17回Tokyoマンモグラフィ技術 講習会	放射線技師	橋本樹
7月9日	東京都精神科病院協会心理部門 第62回研修会	デイケア科 科 長	齋藤健太郎
7月26日	病棟のチーム力を上げるコミュニ ケーション向上セミナー	主 任 師 看 護 師	中根美友紀
7月28日	全衛連検体検査精度管理 オンライン研修会	臨床検査科 科 長	粕谷勝尋
7月29日	東京デイケア連絡会第113回例会	デイケア科 科 長	齋藤健太郎
7月30日	第202回マンモグラフィ撮影技術 更新講習会	放射線技師	香川佳央了
8月1日	チームの心理的安全性を高める コミュニケーション向上セミナー	副看護部長	廣瀬久美子 他
8月3日	豊島区障害者地域生活移行支援事 業ピアサポート普及推進連絡会	師 長 看 護 師	矢作太郎

月 日	研修会名	職責	参加者
8月5日	全衛連腹部超音波検査 オンライン研修会	主任 検査技師	神部瑠美
8月18日	全衛連特殊健診セミナー	管理職	健康管理 センター 管理職
8月24日	日本大学医学部附属板橋病院 第1回栄養塾	栄養科 副主任	藤井薫
9月3日	認定スーパーバイザー研修	相談室室長	洗成子
9月6日	東精協ケースを通して学ぶ看護倫 理虐待のない看護現場である為に	主任 看護師	鈴木恵美子 他
9月7日	Micro horizontal preparation	歯科 医 科 長	島田穰
9月15日	人間ドック健診認定医研修会	健康管 理セ ンタ ー 所 長	堀江俊文
9月30日	人間ドック健診認定医研修会	健康管 理セ ンタ ー 副 所 長	矢吹志保
10月5日	前歯部審美修復～硬軟組織の マネージメント第1回	歯科 医 科 長	島村穰
10月6日	日本臨床検査機器振興協会展示会	臨床検査科 科 長	粕谷勝尋
11月1日	安全運転管理者講習	健康管 理セ ンタ ー 次 長	石井秀揮
11月1日	精神科病院における安心・安全な 医療を提供するための研修	副 主 任 看 護 師	貝瀬悟
11月2日	(株)大塚製薬工場研修会	栄養科 副 主 任	藤井薫
11月2日	JDDW2023 第31回日本消化器関連学会	放射線技師	香川佳央了
11月8日	東京都肝炎コーディネーター養成 研修	健康管 理セ ンタ ー 事 務 課 長	武藤真弓

月 日	研修会名	職責	参加者
12月2日	(株)フードケア フードケアシンポジウム	栄 養 科 副 主 任	藤井董
12月8日	看協会首都直下地震が発生したら あなたの病院では何が起こる	副看護部長	丸山美佐子 他
1月17日	板橋区感染症ネットワーク会議	臨床検査科 科 長	粕谷勝尋
1月19日	公精協令和5年度 精神科作業療法士研修会	作業療法科 科 長	藤本直也 他
1月30日	東京都地域移行圏域別研修	相 談 員	吉田綾子
2月1日 ～2日	ストレスチェック面接・相談対応①②	健 康 管 理 セ ン タ ー 副 所 長	榎本真奈美
2月10日	東精協OT部門研修会	作業療法科 科 長	藤本直也
2月16日	東精協アンガーマネジメントイライラ と上手く付合う医療職になる	主 任 師 看 護 師	中根美友紀 他
2月18日	東京精神科病院協会心理部門 第63回研修会	デイケア科 科 長	齋藤健太郎
2月7日	第38回地方会超音波学術集会 オンライン配信	臨床検査科 主 任 師	神部瑠美
2月21日	板橋区結核対策特別促進事業 検討会	臨床検査科 科 長	粕谷勝尋
3月8日	公正採用選考人権啓発推進員 研修会	総 務 課 長	泉澤和哉
3月14日	東京都栄養士会 スポーツ栄養セミナー	栄 養 科 科 長	森田ほづえ
3月14日	歯周組織再生療法の適応症と インスツルメント	歯 科 医 長	島村穰
3月21日	東精協令和6年度診療報酬改定	副看護部長	丸山美佐子
3月23日	身寄りのない方を地域の多職種が 連携して支えるために	相 談 室 室 長 代 理	加藤きゆき

3. 内部研修会実績

月 日	研修会名	職責	発表者
4月11日	衛生講習会 (ウェルツシュ菌について)	管 理 部 ス ー パ ー バ イ ザ ー	日清医療食品
4月18日	(看護補助者研修) 医療制度の概要及び病院の機能と 組織の理解・守秘義務、個人情報 の保護、医療チーム及び看護チー ムの一員としての看護補助者業務 理解、医療安全と感染防止、PPE	副看護部長	廣瀬久美子
5月11日	衛生講習会 (食中毒予防について)	管 理 部 ス ー パ ー バ イ ザ ー	日清医療食品
5月16日	(看護補助者研修) 基礎・シーツ交換・移乗	副看護部長	丸山美佐子
6月16日	防災と災害時の対応①	施 設 課 長	渡辺俊美
6月16日	接遇研修 (安心・安全な食事提供について)	管 理 部 ス ー パ ー バ イ ザ ー	日清医療食品
6月20日	(看護補助者研修) 基礎・食事介助と口腔清拭	副看護部長	米塚麻里子
7月11日	静脈注射の注意点	副看護部長	米塚麻里子
7月14日	衛生講習会 (衛生管理の基本について)	管 理 部 ス ー パ ー バ イ ザ ー	日清医療食品
7月18日	緊急時の対応・AED研修会	医 療 安 全 対 策 室 室 長	粕谷勝尋
8月15日	(看護補助者研修) 基礎・寝衣交換と体位交換	副看護部長	丸山美佐子
9月12日	衛生講習会 (有症者発生時対応マニュアルに ついて)	管 理 部 ス ー パ ー バ イ ザ ー	日清医療食品

月 日	研修会名	職責	発表者
9月27日	シリンジポンプの安全な使い方 研修会	医療安全 対策室長	粕谷勝尋
10月26日	防災と災害時の対応②	施設課長	渡辺俊美
10月23日～ 12月15日	PPE・衛生的な手洗い研修会	医療安全 対策室長	粕谷勝尋
10月31日	摂食・嚥下について	言語聴覚科 科長代理	小沼岳久
11月2日	褥瘡の発生予防や改善に有効な スキンケア	薬剤部 課長代理	高岡佳子
11月21日	(看護補助者研修) 応用・シーツ交換・移乗	副看護部長	丸山美佐子
12月12日	衛生講習会 (板橋区保健所食品衛生講習会 報告)	栄養科 副主任	藤井薫
1月16日	心の元気を高めよう	公認心理士	原菜緒子
1月23日	(看護補助者研修) 【応用】入浴介助	副看護部長	丸山美佐子
2月22日	精神医療について	副院長	島田巖
3月5日	接遇について	看護部長	栗山美樹
3月7日	看護研究発表	副主任 看護師	中村喜江 他
3月29日	認知症アドバイスについて	デイケア科 科長	齋藤健太郎

C. 設備部門

1. 老朽化等により、環境が悪化したので改修及び更新工事を次の通り実施した。

No	修繕内容
1	精神病棟 階段改修工事
2	外来棟 階段改修工事
3	外来棟 空調機更新工事

2. 病院の情報提供を推進するため、ホームページを適宜更新した。

D. 機器の整備部門

医療の質の向上と健診の充実を図るため、次の医療機器を購入した。

No	機器名	台数	設置部署
1	セントラルモニタ	1台	病棟
2	電動ベッド	27台	病棟
3	パルスオキシメーター	1台	病棟
4	輸液ポンプ	1台	病棟
5	ネブライザー	1台	病棟
6	リクライニングスケール	1台	病棟
7	無散瞳眼底カメラ	1台	集団検診部
8	オートレフクラフトメーター	1台	集団検診部

介護老人保健施設シルバーピア加賀

要介護者に対し、施設サービス計画に基づき、医学的管理の下での看護、介護、機能訓練、レクリエーション等在宅生活への復帰を目指した事業を行なった。

A. 事業部門

1. 施設状況

(1) 入所内訳

入所定員	200名
利用率	92.3%
入所者延数	67,544名
1日平均入所者数	184.5名

(2) 退所先 主な内訳

在宅	14名
併設病院	32名
病院	26名
他介護施設	24名
死亡	39名

(3) 通所内訳

通所定員	60名
利用率	79%
通所者延数	14,645名
実日数	309日
1日平均通所者数	47.4名

B. 受託部門

1. 職場体験学習実施実績

実施日	学習	受入れ先	受入れ数
5月30日～ 6月1日	職場体験	北区立十条富士見中学校	11名
8月7日～11日	介護等体験	文化学園大学	6名
8月21日～25日	介護等体験	東京工業大学	1名

2. 実習生・ボランティア受入実績

	受入れ先	受入れ実人数
看護科実習	帝京大学 看護科	18名
介護科実習	学校法人 資生堂学園	30名
	加賀小学校	74名
リハビリ科	日本リハビリテーション専門学校	4名
	彰栄リハビリ専門学校	17名
	帝京平成大学	1名
ボランティア	傾 聴	6名
	一 般	198名

C. 研修部門

1. 外部研修会出席実績

月 日	研修会名	職責	参加者
4月15日 他3日	介護福祉士実習指導者講習会	介護長	根本貴祥 他
7月3日	令和5年度東京都介護支援 専門員専門研修課程Ⅱ	相談室	君塚大輔
8月7日 他4日	令和5年度東京都介護支援 専門員専門研修課程Ⅱ	相談室	上田直子
9月29日	国際福祉機器展&フォーラム	介護長	根本貴祥
11月22日	給食施設における衛生講習会	栄養科	大橋律子

2. 内部研修会実績

月 日	研修会名	講師	参加者数
4月20日	施設理念と就業規則	田中誠(事務)	6名
5月19日	褥瘡について	感染対策委員会	5名
6月15日	事故対策について	事故対策委員会	9名
7月21日	食中毒について	栄養科	10名
8月17日	虐待について	施設サービス 推進委員会	20名
9月15日	感染症について	感染委員会	19名
10月19日	スピーチロックについて	事故対策委員会	19名
11月17日	BCP(事業継続計画)について	事務課	15名
12月21日	虐待について	通所・事務課	20名
1月19日	事故防止	事故対策委員会	18名
2月6日	AED講習会	板橋消防署	14名
2月15日	アンガーマネジメントについて	研修育成委員	8名
3月15日	身体拘束について	事故対策委員会	11名
3月22日	虐待について	施設サービス 推進委員会	15名

訪問看護ステーション

要介護者の居宅を訪問し療養上の世話や支援、診療の補助を行い、必要な看護サービス事業を行なった。

A. 事業部門

1. 事業状況

保険の別	訪問件数
医療保険	558件
介護保険	1,076件
1日平均訪問件数	6.5名

B. 研修部門

1. 会議・研修会等出席実績

月日	会議・研修会名	職責	参加者
5月9日	板橋区訪問看護ステーション会 所長会	所長	山下昌代
7月4日	板橋区訪問看護ステーション会 所長会	所長	山下昌代
8月6日	医療的ケア教員講習会	訪問看護	深井知亜紀
10月15日	認知症対応力向上研修	所長	山下昌代 他
1月16日	板橋区訪問看護ステーション会 所長会	所長	山下昌代

居宅介護支援事業所

在宅の要介護者等が、在宅サービスを適切に利用出来るようにサービス計画を作成し、居宅介護支援事業を行なった。

A. 事業部門

1. 事業状況

内 容	件 数
介護保険給付管理	761 件
介護予防給付受託件数	78 件
認定調査委託件数	32 件

B. 研修部門

1. 介護支援専門員事例検討会開催実績

月 日	内 容	参加 事業者	参加者数
6 月 9 日	第 26 回 その人らしさとか、意向の尊重とか	19	27 名
9 月 8 日	第 27 回 「歩けない」と言いながら多くの病院受診を繰り返す。ヘルパーさんや医療に対する要求がエスカレートしていく A さんの今後の支援	9	12 名
12 月 8 日	第 28 回 ターミナル利用者の利用終了後	10	14 名
3 月 8 日	第 29 回 看取り期に、本人の食べたい、飲みたいと気持ちがあり、チーム全体でその希望をかなえたケースについて	13	17 名

2. 外部会議出席

	会議名	参加者
7月11日	地域ケア会議 ～ 徘徊により目が離せない利用者への対応 ～	木村実

3. 外部研修会出席実績

月 日	研修会名	参加者
6月19日	ケアマネジャー向け研修 認知症アセスメントシート(DASC)研修	佐藤浩之 木村実
6月27日	ケアマネジャー向け研修 精神障がいの基礎知識 ～特性の理解とかかわり方を学ぶ～	木村実
8月23日	介護職員向け研修 介護者の負担が少ない自立型介助のコツ	佐藤浩之 木村実
8月29日	板橋・仲宿地域ケアマネ向け研修 相談業務におけるモラルハラスメントへの対応につ いて～支援に向き合うために～	佐藤浩之 木村実
9月21日	ケアマネジャー向け研修 高齢者の口腔ケアの重要性	木村実
12月11日	ケアマネジャー向け研修(事例検討会) 生活費を使い込んで生活困窮を繰り返している方 への支援について	佐藤浩之 木村実

地域包括支援センター

板橋区より運営委託を受け、地域の高齢者に対して状況を把握し、適切な情報を継続的に配信した支援事業を行なった。

A. 事業部門

1. 事業状況

内 容	取扱い件数
相 談 延 数	6,075 件
相 談 者 数	805 名
見 守 り ネット 対 象 者	242 名
在 宅 訪 問 件 数	1,864 件
認 定 調 査 委 託 数	59 件
介 護 予 防 事 業 管 理 件 数	1,150 件
予 防 給 付 管 理 件 数	1,882 件

B. 受託部門

1. 外部講演会等実績

月 日	研修会名	職責	参加者
4 月 3 日	「介護予防継続への支援」 加賀ガーデンハイツ	センター長	齋藤肇二 他
4 月 4 日	「介護予防継続への支援」 コーシャハイム加賀	センター長	齋藤肇二
4 月 26 日	「介護予防と地域ケアの必要性」 パナソニックエイジフリー城北大山東町店	センター長	齋藤肇二 他
5 月 23 日	「頭の体操ミコ講座」 なごみランチ倶楽部	介護支援専門員	三澤史哲 他
6 月 19 日	「家族介護者教室」 板橋地域センター	センター長	齋藤肇二 他
8 月 1 日	「秋桜 10の筋トレの会」活動補助 パナソニックエイジフリー城北大山東町店	センター長	齋藤肇二

月 日	研修会名	職責	参加者
9月3日	「身守りキーホルダー交付会」 板二東シルバー会	センター長	齋藤肇二 他
9月13日	「身守りキーホルダー初回 高齢者なんでも相談の紹介」 パナソニックエイジフリー城北大山東町店	センター長	齋藤肇二 他
10月28日	「元気力チェックシート実施・ 身守りキーホルダーの交付」 老人クラブ・三桜会	センター長	齋藤肇二 他
11月8日 22日	「秋桜 10の筋トレの会」活動補助 パナソニックエイジフリー城北大山東町店	センター長	齋藤肇二
1月19日	「地域包括支援センターについて」 日本大学医学部附属看護専門学校	センター長	齋藤肇二
2月20日	「10の筋トレの会」活動補助 グランフィーネ加賀	保健師	紀室幸恵 他
2月26日	「介護保険サービスの利用について」 けやきの会	センター長	齋藤肇二
3月24日	桜まつり 板橋第5中学校校庭	介護支援専門員	三澤史哲 他

C. 研修部門

1. 外部研修会等出席実績

月 日	研修会名	職責	参加者
4月27日	新任介護支援専門員向け研修	介護支援専門員	伊藤麻智枝
5月17日 23～24日	高齢者虐待対応研修	主任介護支援専門員	宮本京子
6月13日	認知症カフェ講演会	社会福祉士	宮川多津子
6月14日	在宅療養ネットワーク懇和会	センター長	齋藤肇二
6月27日	精神障がい基礎知識	主任介護支援専門員	宮本京子
7月13日	初期集中支援チーム員研修	社会福祉士	宮川多津子
7月20日	BCP セミナー	センター長	齋藤肇二
7月26日	セルフネグレクトへの支援	主任介護支援専門員	宮本京子
8月18日	個人情報保護措置の徹底について	センター長	齋藤肇二 他
8月23日	初期集中支援チーム員研修	主任介護支援専門員	宮本京子
8月24日	介護施設 BCP ワークショップ	介護支援専門員	三澤史哲
9月27日	住民主体の通所型サービス事業者研修及び交流会	センター長	齋藤肇二
10月3日	地域共生社会でのケアマネの業務を考える研修	主任介護支援専門員	宮本京子
10月11日	初期集中支援チーム員研修	センター長	齋藤肇二
10月12日	認知症サポーターステップアップ講座	社会福祉士	宮川多津子
11月7日	認知症の方を介護する家族のための交流会の今後	社会福祉士	宮川多津子

月 日	研修会名	職責	参加者
11月11日	初期集中支援チーム員研修	主任介護支援専門員	宮本京子
11月14日	認知症地域支援推進員研修	社会福祉士	宮川多津子
11月16日	志村第5中学校認知症サポーター養成講座見学	社会福祉士	宮川多津子
11月20日	介護予防ケアマネジメント研修	介護支援専門員	伊藤麻智枝
11月21日	高齢者虐待防止スキルアップ犬種	主任介護支援専門員	宮本京子
2月6日	地域づくりセミナー	センター長	齋藤肇二
2月19日	住宅改修関連事業者研修	主任介護支援専門員	宮本京子
3月14日	事例検討会 (居宅介護支援事業所ちかい主催)	介護支援専門員	三澤史哲
3月18日	介護保険改定が居宅介護支援に与える影響	センター長	齋藤肇二 他
3月29日	介護施設 BCP 策定個別訪問支援	センター長	齋藤肇二 他

2. 主任介護支援専門員向け交流会開催実績

月 日	内 容	参加者数
4月25日	令和5年度ケアマネ向け研修について、ケアマネアンケート結果から	19名
6月27日	ケアマネ向け研修打ち合わせ、情報交換	18名
1月12日	ケアマネ向け研修の振り返りと来年度研修企画について意見交換	17名
3月11日	令和6年度の介護支援専門員への研修について	11名

3. 地域ケアマネ向け研修会開催実績

月 日	内 容	参加者数
8月29日	「相談業務におけるモラルハラスメントへの対応について」～支援に向き合うために～	12名
12月11日	事例検討会 「生活費を使い込んで生活困窮を繰り返している方への支援について」	15名

4. 小地域ケア会議開催実績

月 日	内 容	参加者数
7月11日	徘徊により目が離せない利用者への対応 グリーンホール 601会議室	32名

5. 相談協力員研修会開催実績

月 日	内 容	参加者数
8月22日	「ゲートキーパーについて」	20名

6. 地区ネットワーク会議開催実績

月 日	内 容	参加者数
3月1日	今年度実施の小地域ケア会議、事例検討会により抽出された地域課題について考える・活動報告	17名

7. 認知症への理解・啓発・普及

①認知症家族交流会

認知症の方を介護した方等との交流、情報交換

5月11日・10月5日・12月7日・3月7日

②板橋地域認知症声かけ訓練

9月15日 板橋2丁目アパート都営住宅周辺にて

③認知症カフェ(オレンジカフェ)活動支援

パナカフェ(パナソニックエイジフリー城北大山町店にて)

毎月第2水曜日

サロンド カフェ 加賀 (シルバーピア加賀食堂にて)

毎月第1・第3水曜日

④認知症サポーター養成講座

2月27日 スマイル10の筋トレ加賀(コーシャハイム加賀)

3月26日 彰栄リハビリテーション専門学校